

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

令和 7年 6月 30日	
大阪府知事 様 (大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)	
提出者 住 所 大阪市此花区梅町2丁目2-13 氏 名 株式会社 ハーモニックス 代表取締役 吉川 貴雄	
電話番号 06-4804-1350	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 ハーモニックス 高石工場
事業場の所在地	大阪府高石市高砂1丁目11-5
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	他に分類されない窯業、土石製品製造業
②事業の規模	(高石工場) 請負金額換算 ¥264,000千円/月
③従業員数	(高石工場) 職員：4名 作業員：20名 計24名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙による

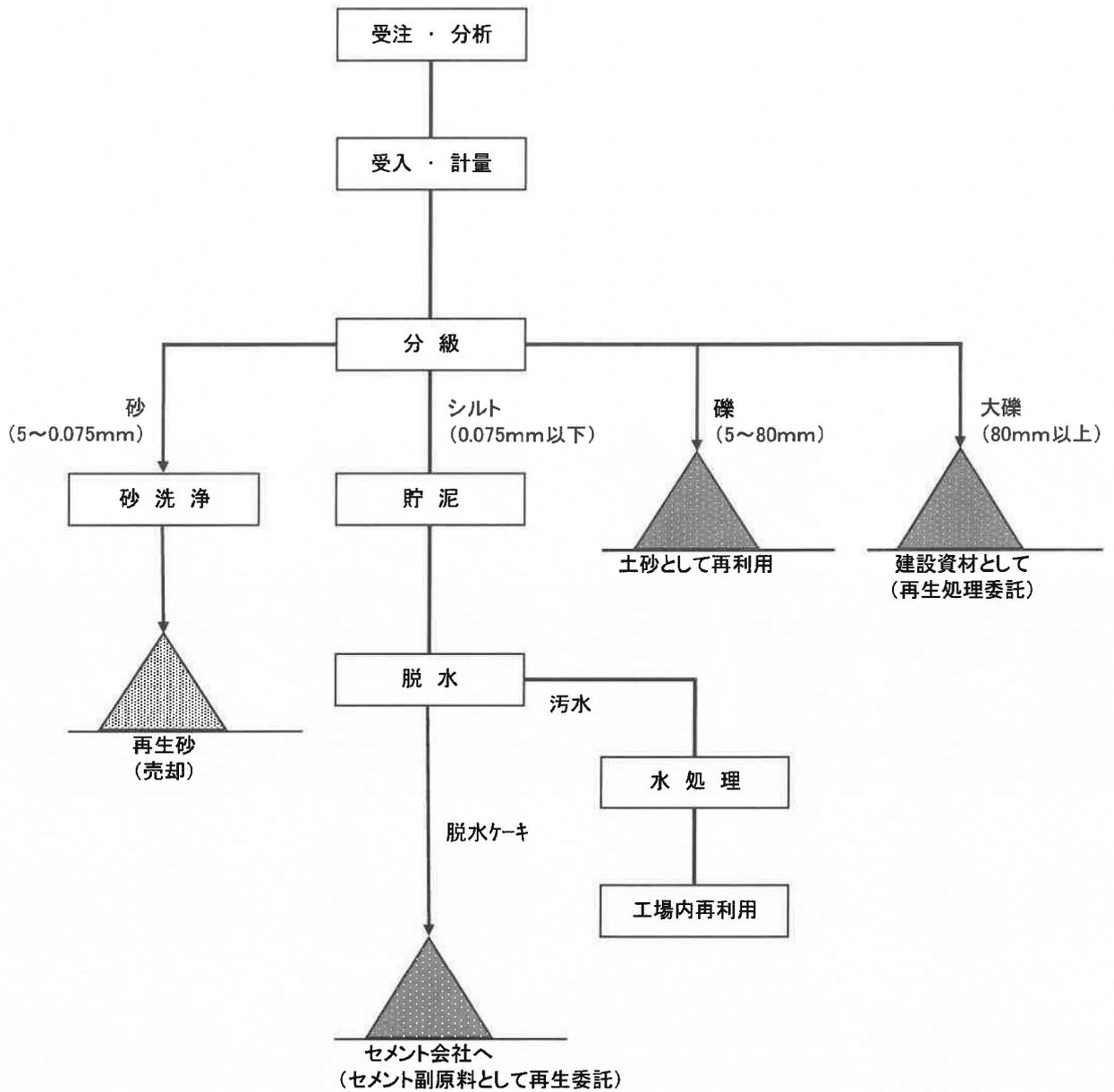
（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙による			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	排出量	8,518 t	233 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	排出量	9,000 t	230 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・がれき、建設系混合廃棄物の分別をし、再生処理業者に再生利用を委託している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・特になし。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	全処理委託量	8,518 t	233 t
	優良認定処理業者への処理委託量	8,390 t	t
	再生利用業者への処理委託量	8,518 t	233 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
(これまでに実施した取組)			
・排出事業者にがれき類等異物の分別を確実にするよう要請。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	全処理委託量	9,000 t	230 t
	優良認定処理業者への処理委託量	8,500 t	
	再生利用業者への処理委託量	9,000 t	230 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施している分別をより一層確実に行うよう依頼する。 ・搬入されたがれき類は当社では処分しない旨を営業段階で伝える。 			
※事務処理欄			



管理体制

